

三成寿作 京都大学iPS細胞研究所 特定准教授

〈専門分野〉 ゲノム情報、生命科学、社会的含意、規律

Q1. 「ゲノム合成」に関して、最も関心のある/重要と考えるテーマ・論点・事象など

- 特許のあり方（特許を取得できる対象・範囲等）、ゲノム合成の発展と国際競争との関係性
- 規制・規律のあり方（カルタヘナ法の可能性と限界）

Q2. ご自身の最近の活動として、最も関心のある/あるいは周囲でホットなテーマなど

- ゲノム研究とゲノム医療とのつながり方
（キーワード：オープンサイエンス、個人情報、健康・医療情報、健康・医療機器、人工知能）

〈活動紹介〉

- J. Minari, K. B. Brothers, and M. Morrison. Tensions in ethics and policy created by National Precision Medicine Programs. *Human Genomics (Opinion Article)*, 12:22, 2018.
- J. Minari, G. Yoshizawa, and N. Shinomiya. COVID-19 and the boundaries of open science and innovation: lesson of traceability from genomic data sharing and biosecurity. *EMBO Reports (Science & Society)*, e51773. 2020.